



平成 21 年 7 月 14 日

各位

会社名 森下仁丹株式会社
代表者 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号 4524 東証、大証各第 2 部)
問い合わせ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

当社プロジェクトが地域イノベーション創出研究開発事業に採択
ー 植物の再生機構由来の機能性ペプチドを利用した医療用品の開発 ー

当社、アンジェスMG株式会社(東証マザーズ 4563 以下アンジェスMGという)および大阪大学が共同提案しておりました「植物の再生機構由来の機能性ペプチドを利用した医療用品の開発」プロジェクトが、平成 21 年度地域イノベーション創出研究開発事業(経済産業省)に採択され、7 月 13 日に公表されましたのでお知らせいたします。

当プロジェクトは、当社とアンジェス MG との間で締結した、抗菌作用を有する機能性ペプチドを応用した新製品開発を目指す共同研究開発に関する基本合意に基づいて実施されるものであり、植物の再生機能を由来として開発した機能性ペプチド(ナチュラルヒーリングペプチド)を用いて、治りやすく化膿しにくい新しいタイプの付加型医療機器を開発するものです。具体的には、創傷部位の感染を防ぐことで清浄性を保ち、かつ、生体にとって安全で刺激性のない、肌に優しい救急絆創膏や褥瘡パッドなどの研究開発を行ないます。

共同研究開発は、アンジェス MG が選定した抗菌活性を持つ機能性ペプチドを用いて大阪大学と共同で有用性評価を実施し、当社が機能性ペプチドを用いた新製品の研究開発を行います。また、当事業の期限である平成23年3月末までに、新製品の発売を目指します。

地域イノベーション創出研究開発事業は、地域において産学官連携により事業化に直結する実用化技術開発を促進することにより、新産業の創出を促し、もって地域経済の活性化を図る事を目的として実施されるものであり、今回のコンソーシアムは近畿地区における産学連携から新たな産業を創出する事が期待されるものです。

なお、本件の本年度業績への影響は軽微であり、業績予想には変更がありません。

以上